

下呂市橋梁修繕個別施設計画

1. 現状と課題

下呂市が管理する市道における橋梁は、令和8年3月末現在、橋長2m以上の橋梁が680橋あります。そのうち架設年度が不明な橋が390橋、それ以外の290橋のうち供用後50年を超える橋梁は122橋ですが、約84%の243橋が供用後30年以上となっています。今後、供用後50年を超える橋梁が10年後には188橋、20年後には243橋、30年後には279橋と急激に増加していきます。

こうした橋梁の急速な高齢化、老朽化の対策が大きな課題となっており、定期的な点検による確実な状況把握、点検結果に基づく確実な対策が必要となっています。

2. 対象施設

計画対象は橋長2m以上の橋梁680橋で、2m以上15m未満の橋梁が485橋、15m以上の橋梁195橋となっています。

3. 基本方針

橋梁について、メンテナンスサイクル（点検→診断→措置→記録）を構築し持続的に推進することで施設の長寿命化（老朽化対策）を図ります。

「事後保全」から「予防保全」へ転換を行なうことでライフサイクルコストの縮減を図り、効率的・効果的な維持管理を実施します。

4. 計画期間

今後、実施する維持管理は、適切な時期に適切な修繕を実施するため、計画的な維持管理に転換するとともに、施設の長寿命化による維持管理・更新費用の縮減が重要です。

計画期間は、5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかになるよう10年とします。また、計画については点検等を踏まえ、適宜、更新します。

今後も定期的な点検を実施することで、安全な橋の通行を確保するとともに、点検により損傷が明らかになった場合は、損傷が悪化する前に速やかに修繕を実施します。

点検では現地での健全度の把握結果をもとにし、橋梁毎損傷度を、橋梁各部材区分の損傷毎に4段階の区分を行い、評価します。

定期点検における健全度の区分

区 分		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、要望保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

5. 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるような必要な措置を講じます。

また、対策箇所の優先順位については、路線の重要性や橋梁の変状の状況による判定区分などを踏まえて実施します。

6. 施設の状態

下呂市では、平成 26 年度より順次点検を実施しており、現在までに点検を終えた 680 橋の結果については 表 1 となります。

表－1 定期点検の判定結果（令和 7 年度末現在）

判定	数
I	362
II	264
III	54
IV	0
計	680

7. 今後の取り組み

7.1 集約化・撤去

迂回路が存在し集約可能な橋梁について、令和 9 年度までに 2 橋程度の集約化・撤去を検討し、約 26 百万のコスト縮減、また、施設の機能縮小、複数施設の集約化などの検討、社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路状況、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用の縮減を目指します。

撤去の条件、手順は次のとおりとします。

【条件】

- ・道路区分がその他市道である
- ・迂回距離が 2 k m 未満（歩道は 1 k m 未満）である
- ・迂回路が整備されている
- ・占用物がない又は移設可能である

【手順】

1. 迂回距離、占用物、周辺状況の確認（健全度区分がⅢになった橋梁）
2. 地域への聞き取り（必要に応じ地元説明）
3. 周辺住民への周知
4. 通行制限の実施（重量制限、車両通行禁止等）
5. 通行止め
6. 撤去

7.2 新技術の導入・活用に関する方針

日々更新される新技術について情報を収集し、活用可能と思われる技術については、採用に向け積極的に検証を行います。

点検においては、新技術のメリットを検討し、費用縮減や点検の効果を図ります。修繕工事においては、設計段階において新技術・新工法を比較対象とし、積極的に検討・活用することで修繕費用の縮減を図ります。

令和 5 年度から令和 6 年度において、4 橋で新技術等を活用し、従来工法より、3,200 千円の効果を上げた。また令和 9 年度までに、4 橋において約 6,800 千円程度の費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術等を活用することを目指します。

7.3 費用の縮減に関する方針

費用の縮減等が期待できる新技術を、積極的に活用し、コストの縮減を図ります。

ライフサイクルコストの構築及び今後の人口推移や利用環境の変化、施設の損傷状況を踏まえ、施設の撤去なども視野に入れ、維持管理費用の縮減に取り組んでいきます。新技術の活用を重点的に検討し、令和 9 年度までの 3 年間で約 2 百万円のコスト縮減に努めます。

8. 基本方針及び対策内容と実施時期、対策費用

今後は、定期点検（5年に1回）を行ったうえで、橋梁の健全性を確保するとともに、健全度がⅢ以上として判定された橋については、速やかに対策を着手します。また、健全度Ⅲ以上と判定された橋の修繕完了後は、健全度Ⅱの橋を対象に予防保全的な修繕を行います。点検時期及び対策時期については、別表となります。

平成 31 年 3 月策定

令和 5 年 3 月改訂

令和 6 年 3 月改訂

令和 8 年 1 月改訂

令和 8 年 3 月改訂

下呂市が管理する橋梁の個別施設計画

施設名 道路橋名	路線 路線名	架設年次 架設年次 (西暦 4桁)	橋長 (m)	幅員 (m)	構造形式		当該道路橋の 緊急輸送道別 ・一次 ・二次 ・三次 ・無し	点検計画【R1～R7実績】										修繕計画(着手予定)【R1～R7実績】										対策内容	対策費用 (百万円)	点検記録			
					橋種	形式		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10			点検実施年度	点検実施年月	判定 区分	備考
								・R1年度 ・R2年度 ・R3年度 ・R4年度 ・R5年度 ・R6年度 ・R7年度	・H31.04 ・ ・ ・R8.03	・I ・II ・III ・IV																							
嫁谷橋	市道嫁谷線	1971	121.0	4.5	鋼橋	桁橋	無し	○																塗装塗替工	54	R6年度	R7.01	II	R4補修、鉛(R4除去)				
益田橋	市道益田橋線	1982	143.7	8.4	鋼橋	箱桁橋	無し	○																塗装塗替工	284	R6年度	R6.11	II	R5補修、鉛(R5除去)				
滝ヶ野橋	市道小坂町大垣内線	1996	26.0	8.0	鋼橋	桁橋	無し	○																塗装塗替工	1	R6年度	R6.11	II					
桜谷橋	市道萩原東本町線	1961	19.0	6.0	鋼橋	桁橋	無し		○																	R7年度	R2.09	II					
湖畔橋	市道大島11号線	1987	32.9	5.0	PC橋	桁橋	無し		○															ひび割れ注入工	13	R7年度	R7.10	II					
仙遊橋	市道落合3号線	1979	39.0	6.5	鋼橋	桁橋	無し		○																	R7年度	R7.10	II					
兜明橋	市道落合3-3号線	1971	63.0	3.0	PC橋	桁橋	無し		○															ひび割れ注入工	3	R6年度	R6.10	II					
きこり大橋	市道小坂町大島線	1992	84.3	8.25	鋼橋	アーチ橋	無し																	塗装塗替工	53	R5年度	R5.09	II	R1補修				
洞畑橋	市道小坂町大島線	2013	19.5	5.0	PC橋	床板橋	無し																			R5年度	R5.08	I					
下呂大橋	市道湯之島1号線	1964	168.0	7.8	鋼橋	桁橋	二次																	当て板補修工 当て板補修工	85 30	R5年度	R5.09	III	R2補修				
河鹿橋	市道少ヶ野1号線	1979	89.75	12.0	RC橋	桁橋	無し		○															塗装塗替工	9	R7年度	R7.10	III					
阿多野橋	市道森1号線	1972	19.0	14.1	鋼橋	桁橋	無し																	塗装塗替工	10	R3年度	R3.11	II	PCB、鉛				
宮地橋	市道宮地36号線	1998	40.1	9.64	PC橋	床板橋	無し	○																		R6年度	R7.01	I					
東上田1号1号橋	市道東上田1号線	1979	15.0	6.5	RC橋	床板橋	無し	○																		R6年度	R6.11	I					
黒戸大橋	市道森8号線	2001	66.0	9.3	鋼橋	桁橋	二次	○																		R6年度	R6.11	I					
夏焼橋	市道和川2号線	1962	19.2	3.6	PC橋	桁橋	無し	○																		水切り設置工	2	R6年度	R7.01	III			
久野川橋	市道中原西3号線	1971	65.9	4.0	鋼橋	桁橋	無し																				R4年度	R4.12	II	PCB、鉛			
田中橋	市道宮地36号線	2002	32.5	9.3	鋼橋	桁橋	無し	○																		R6年度	R6.10	I					
中田橋	市道田淵線	1975	71.8	5.0	鋼橋	桁橋	無し		○																		R7年度	R7.10	II				
岩部橋	市道渡祖師野線	1968	50.0	4.5	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R7.03	II	PCB、鉛			
矢野橋	市道田島線	1969	126.75	4.0	RC橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R7.01	II				
下原橋	市道下原線	1974	111.0	5.5	PC橋	床板橋	無し																				R4年度	R4.12	II				
下原橋(歩道橋)	市道下原線	1974	119.0	1.6	鋼橋	桁橋	無し																				R4年度	R4.12	II	鉛			
中橋	市道福来線	1972	71.0	4.5	鋼橋	トラス橋	無し																				R4年度	R4.12	II	鉛			
東橋	市道地藏堂下岩部線	2010	109.0	7.5	鋼橋	桁橋	無し																				R5年度	R5.09	II				
新乙島橋	市道打尾谷合線	1976	61.7	5.45	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R7.03	III				
笹洞口橋	市道横谷前山線	2004	38.5	7.0	PC橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.10	I				
三方谷橋	市道惣島線	2000	35.0	7.9	PC橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.11	I				
湯之島橋	市道森96号線	1990	29.8	12.0	PC橋	アーチ橋	一次																				R4年度	R4.10	II				
東上田跨道橋	市道東上田1号線	1978	18.9	6.7	鋼橋	桁橋	無し																				R3年度	R4.01	II				
浅水橋	市道浅水橋線	1975	58.2	2.0	鋼橋	吊橋	無し																				R3年度	R3.10	II				
四美谷1号橋	市道四美中央線	2004	24.6	9.0	PC橋	床板橋	無し		○																		R7年度	R2.08	I				
上之田橋	市道上之田中央線	1992	35.0	5.91	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.11	II				
共和橋	市道湯屋2号線	1995	66.0	8.8	鋼橋	桁橋	無し		○																		R7年度	R7.10	II				
猿沢歩道橋	市道湯屋2-1号線	2004	33.0	2.5	PC橋	床板橋	無し																				R3年度	R3.10	I				
古子橋	市道長瀬4号線	1969	49.0	4.0	鋼橋	桁橋	無し		○																		R7年度	R7.10	I	鉛			
藤橋	市道大垣内無数原線	1964	55.0	3.6	鋼橋	桁橋	無し		○																		R7年度	R7.10	II				
立石橋	市道赤沼田2号線	1954	16.0	3.7	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R7.01	II				
大萱谷橋	市道赤沼田2号線	1954	16.0	3.6	鋼橋	桁橋	無し																				R3年度	R3.11	I	併用林道			
小倉橋	市道大洞4号線	1959	25.0	3.6	PC橋	桁橋	無し		○																		R7年度	R7.11	II	併用林道			
岩崎大橋	市道門坂岩崎線	1981	70.0	5.0	鋼橋	桁橋	無し																				R4年度	R4.08	I	R1補修			
新深瀬橋	市道大洞5号線	1983	58.0	5.0	鋼橋	桁橋	無し		○																		R7年度	R7.10	I				
下渡瀬橋	市道御殿野1号線	1962	28.8	4.0	PC橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.12	I				
新田橋	市道宮地3号線	1995	31.5	9.35	PC橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.10	I				
井ノ口橋	市道中原東4号線	1963	20.0	3.0	PC橋	桁橋	無し																				R3年度	R3.10	II				
湯屋橋	市道中原東14号線	1975	28.0	3.2	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.12	I				
室洞3号橋	市道室洞線	1998	18.8	5.55	PC橋	床板橋	無し		○																		R7年度	R2.07	I				
岳見橋	市道西芋島線	1974	44.9	4.0	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R7.02	II	主桁の歪み、鉛			
阿ん之上橋	市道川西線	1996	41.0	7.6	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.10	II				
豊年橋	市道橋場線	1972	64.4	4.0	鋼橋	桁橋	無し	○																			R6年度	R6.11	II	鉛			

* 修繕計画については、長寿命化計画に基づき実施するもの及び、法定点検結果に基づき修繕補修を行うものがある。
* 修繕計画については、各年度での法定点検が完了した時点で、点検結果により見直すことがある。
* 対策の優先順位は、劣化・損傷状況に加え、当該施設の役割、利用状況、重要度、地域性等を考慮して決定する。

